

2024年7月聖句

「わたしはぶどうの木で、あなたがたは枝です。人がわたしにとどまり、わたしもその人の中にとどまっているなら、そういう人は多くの実を結びます。私を離れては、あなたがたは何もすることができないからです。」 (ヨハネ15:5)

果物の里・福島、あちこちにぶどう棚が作られ、ブドウの房がたわわに実っています。2千年前、イエス様の住んでいたイスラエルの国もイチジク、オリーブ、ブドウなど果物の産地でした。上記の聖句はイエス様の“ぶどうの木と枝”のたとえの御言葉です。私たちは何十年と生きて来ましたがどんな実を結んだのでしょうか。子育ても終わり、家を持ち、年金生活をしている、それなりに頑張って実を結んだよ。結果オーライと言えるかもしれません。でも、いのちをくださった神様はどう見ているのでしょうか。私たちはこの世に生を受け今を生きています。私たちのいのちの主であるイエス様は、私たちがその生涯において多くの良い実を結ぶことを望んでおられます。イエス様は“わたしはぶどうの木であなた方はその枝です。”と言われ、枝がぶどうの木に繋がってなければ枝だけでは実を結ぶことができないように、人はイエスさまにとどまっていなければ実を結ぶことができないと教えられました。80年、90年と生きてきました。でも、その長い生涯をかけて一体どのような実を結びましたか。イエス様は多くの良い実を結ぶ秘訣を教えてください。それはぶどうの枝が幹にとどまって（幹につながり、堅く結合して）実を結ぶように、私たちの心が主イエス様に堅く結びついていなければなりません。イエス様を神の御子キリスト（救い主）と信じ心にお迎えてイエス様に繋がるのです。罪を悔い改め、祈り願い感謝するイエス様との毎日の対話です。聖書を読み、その教えを本気で信じ実行する生活をする事です。イエス様との生きた心のつながりがなければならぬのです。イエス様を抜きにしては神様の喜ばれる実を結ぶことはできません。それでは神が望まれる良い実とは何でしょうか。聖書は各人の品性や徳行、つまり霊的な実を上げています。ガラテヤ書5:22,23を見ますと「愛、喜び、平安、寛容、親切、善意、誠実、柔和、自制」をあげ、それは聖霊のもたらす実であると述べています。またキリストの愛の模範に倣い、愛の実を結ぶという実践的行動です(ヨハネ15:12)。この世に生きてどれだけの実を結んだか。多くの実を結ぶとは世人の評価ではなく、どれだけ天に宝を積んだかという天地の主である神の評価です。(マタイ6:20,21)。イエスにとどまり続けて豊かな実を結ぶものとなりましょう。キリストを信じて多くの実を結ぶ人は神の栄光を表し神を喜ぶ者となるのです。「よくやった、良い忠実なしもべだ。主人の喜びをともに喜んでくれ。」(マタイ25:21)。多くの実を結ぶ者への神のおほめのお言葉です。



今月の説教

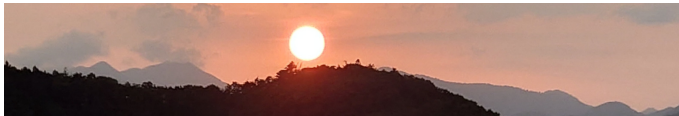
「生ける水を飲みなさい」ヨハネ7:37-53

<目的>命の水であるイエスキリストを信じて魂の霊的枯渇が癒され活力ある生活をする。37<祭りの終わりの大いなる日>仮庵の祭りの8日目の最終日。シロアムの池から水を汲み7日間の祭壇に水注ぎがなされた。水を求めての荒野の40年から解放され、乳と水の流れる地カナンに生きる祝福を神に感謝する祭りの最終日である。イエスは群衆に向かって公然と枯渇する水ではなく、私の与える生ける水を飲めと大声で叫ばれました。生ける水を飲むとは渴くことのないのちの水である。それはイエスを信じて救われ、魂の奥底から流れ出る命の活力をもって周囲の渴きをいやす水の働きをせよとの招きであります。この水はイエスを信じるすべての人に与えられる生ける御霊の内住の約束です39。この約束の御霊はイエスの栄光即ち十字架の贖いの死と復活と昇天着座の勝利の後に天から注がれると著者は解説します。イエスは弟子たちに対して何度もイエスに代わる助け主である約束の御霊について語っていました14:16,17,16:13-16。御霊はイエスの御霊であり信じる者に生きて内住するいのちの水でありその生きる力は川となって流れ人々の渴きを潤すのです38。この御霊の水は聖書の預言の成就です。イザ12:3:44:3。<この言葉を聞いて>40-52群衆の様々な反応

そして霊的盲目となっているユダヤ人指導者たちの対応が記されています。イエスは約束されたあの予言者、あるいはキリストそのものと考え人々、メシヤはガリラヤから出ないと否定する者、律法主義者パリサイ人や議員祭司长、指導者達は無知な傲慢な軽蔑の態度をもってイエスを捕らえようとしますがイエスの時でないため果たせなかった。議員ニコデモだけが(3章)イエスを弁護しています50,51。ユダヤ人指導者たちの律法解釈の優先と無知と偏見が顕わにされた不信仰、だが群衆の中には信じる者もいました31,41。生まれながらの人は律法があっても罪のゆえにどんなに確かな証拠証言があってもイエスをキリストと認めない。認める力がないのです。律法主義に生きる自力の信仰は人を救うことはありません。1コリ2:14。<結び>37,38<誰でも渴いている人は>自分はいったい何者なのか、真理を求めての魂の飢え渴きが必要である。魂の枯渇に目覚めましょう。<求めなさい、そうすれば与えられます。> 御霊により新生した信者は罪の自覚と悔い改めと信仰が与えられ、御霊の内住と力をいただいて、尽きることのない生きるいのちの水の流れとなって人々に祝福を注ぐ、隣人を潤す者となるのです。これこそが<だれでも>渴いている人、万人に対する命の水の本源者なる主イエスキリストの約束です。

渋谷 敬一 協力牧師・教師

ハレルヤ・声の広場



福音宣教教会余話 渋谷 敬一

主がよくしてくださったことを何一つ忘れるな。

軽費老人ホームエデンの園を退職し、教会の牧会を退いて12年となり、牧師のいない単立・白石バプテスト教会の協力牧師・教師として12、年来年秋には90歳になります。何歳だと確認することの多い高齢者です。日曜日以外は、午前中はみ言葉の学び、休息をとり、午後は2、3時間は、わが家のベテル農園（70坪ほど？）で野菜造りをする毎日です。24時間労働？と言う人もいる牧会から解放され、時間はかなり自由になるのですが、老体には忙しい毎日です。福島は5月からもう7月陽気で熱く、農作業は半袖のシャツを着ます。五十年ほど前に米国のオレゴン州ポートランドのウエスタン神学校に留学していた時、礼拝堂の地下室には古着がたくさん吊り下げてありました。神学生はそれを自由に利用することができました。今日もその50年前の古いよれよれの半袖のシャツを着て農作業をしました。アルバイトで、芝生の除草やペンキ塗りをした時のシャツです。米国のクリスチャンたちの親切を思い出します。“主がよくしてくださったことを何一つ忘れるな。”(詩103:2)五十年前の古着のシャツが手放せません。

<6月雑感>

★先月5月12日は「母の日」、白石教会ではカーネーションで感謝会をしました。毎週の主日、一緒に礼拝に出席していたセイ子姉はおらず寂しくはありましたが感謝しました。今月は「父の日」6月16日で、黒酢の飲み物をいただきました。“元気がばってね”の感謝と励ましです。

★7月7日の宣教セミナー（大友師）の準備のため礼拝後の読書会「東日本大震災と教会増殖」同師著）を持ちました。教会の孤立化を避けるネットワーク（協力関係）を学びました。

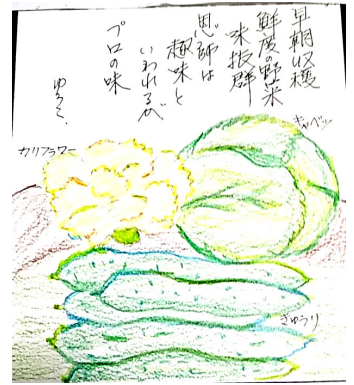
★6/23 仙台から、祈りの友である福士敏明・裕子ご夫妻と石山純一・玲子ご夫妻が礼拝に出席されました。特に石山ご夫妻とは手紙のやり取りはありましたが、今回は何十年ぶりの再会で、予告なしでしたからビックリで大喜びの楽しい交わりとなりました。正に“友の遠方より来る、また楽しからずや”でした。仙台のバプテスト聖書神学校の専任教師・牧師として、また旭ヶ丘、八木山、名取、沖野、上杉、西多賀、仙南などの宣教師による開拓伝道のお手伝いをしていた20年間に与えられた姉姉との出会いと交わりを思い出しています。以来4、50年、変わる事のない諸姉姉の祈りのご支援、主にある交流を数えながら、諸姉姉の主を見上げての信仰の堅忍の恵みに心から主に感謝しました。また大いに励まされました。

★6月も末、東北にも例年に比べて遅い梅雨入りが宣言されました。雨が少なく、露地野菜の育ちが悪い6月でした。全国的に熱い7月となるようです。皆様の健康と主にある奉仕の祝福を祈っています。 渋谷敬一

俳句・短歌・川柳・その他

☆ 空つ梅雨（からつつゆ）
真っ赤に燃える
西の空（ほでなす）

☆ 早朝収穫
鮮度の野菜
味抜群
恩師は
趣味と言われるが
プロの味
（裕子）（絵手紙より）



<折り・とりなし・感謝> 第一テモテ2章:1節

* <祈り・執成し>

教会の働きと兄弟のために：白石BC（無牧・協力牧師教師渋谷）聖十字架キリスト教会、郡山BC（無牧）、東京聖書教会（中山師）高橋清師（創造科学）中野師（教会、神学校）外山師（健康）満好師（健康と働き）、須賀川BC（柴田師）、田場師夫人（沖繩伝道・健康）岡崎師（台湾）長沢師（韓国）創世グループの働き（野田豪一、信光、田中館姉（健康）、斉藤姉（健康）、福地姉（職場の働きと健康）伊藤姉（子供、父入院）有坂兄姉（働き）、山崎師（健康職務）下山田師（健康）福士堅兄（TCU学び）エデンの園（軽費老）、虹の郷（特老）、福士姉（弟健康）石山姉（健康）宮本兄（働き）、野田姉（健康）三澤師（健康回復）、高橋姉（母健康）、谷津姉（健康、仕事）仙台BCBS、船岡BCBC、交わりの諸教会と信徒の守りと導き。<来信・感謝>

<来信・感謝>

斎藤姉、福士夫妻、東京聖書、郡山BC、白石BC、福地姉、田中館姉、岡崎姉、長沢師（韓国）、高橋師ご夫妻、山崎姉、野の花誌、TCU、渋谷兄、大島師、中沢兄姉、宮本兄、有坂兄姉、エデンの園、創世代表、野田信光兄、東京聖書（竹口師）、吾妻兄姉、下山田姉、福士亮夫妻、岡本姉、山崎師、杉山兄、井上姉、村上兄、近藤姉、矢内姉、トボス（白根姉）、大友師、祈りの家、竹口師、大槻姉、野間姉、柴山姉、丸山姉、満好師、十字の園、佐々木姉、石山姉、

<6月奉仕>

白石バプテスト教会 主日礼拝説教 6/2,9,16,23,30 聖餐式6/16
学び会：広報活動、週報内容検討、地域教会との交わりの強化(宣教セミナー準備読書会大友師著)6回、6/16父の日感謝会、白石教会の役員会、月例会。
ベテル便り「恵みの広場」誌6月号、原稿、印刷発送(7/5-10) エデンの園便り原稿6/26 広報誌原稿6/30、創世福祉事業団理事会6/10.野田宅訪問6/8 他(2)

<7月奉仕予定>

白石BC 主日礼拝説教 7月14,21,28 聖餐式7/21,役員会・例会。
7日宣教セミナー司会、
7月学び会地域教会の交わりの強化（ネットワーク）、広報活動。
聖書の気づき証会。訪問：仙台方面、他。エデンの園聖句7/26
ベテル便り「恵みの広場」誌7月原稿7/29 ベテル便り6月号印刷発行7/5。

<白石BC教会行事>

7月7日 宣教セミナー

* ハレルヤ声の広場：掲載原稿募集中（300字程度）：信仰の気づき、証し、詩歌、俳句等（兄弟姉の声を賑やかに出し合い祈りと感謝の紙面を作りましょう） 渋谷敬一